

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	DLd 療法施行患者における好中球減少の発症状況と要因探索
研究責任者 (所属科名)	野村 実由 (広島市立安佐市民病院薬剤部)
本研究の目的・意義	ダラツムマブ+レナリドミド+デキサメタゾン併用療法 (DLd 療法) は、2017 年 9 に承認され、当院でも 2018 年 1 月から運用開始している。国際共同第Ⅲ相試験では DLd 療法で、好中球減少について全 Grade で 59.4%出現していた。しかし当院では、国際共同第Ⅲ相試験と比較して、高齢の患者が多く、後方ラインで導入される例も少なくない。当院の好中球減少の頻度について、臨床試験と比較し、重篤な好中球減少をきたす要因探索を行った。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：： 2018 年 1 月から 2019 年 12 月 研究期間：2020 年 9 月までを予定しています。
該当資料・データ	対象：2018 年 1 月から 2019 年 12 月までに DLd 療法を施行した多発性骨髄腫患者を対称としました。 ・研究に使用するデータの種類：当院電子カルテ内にある診療記録から、年齢、血清クレアチニン値、DLd 投与量などを調査します。
個人情報の取り扱い	この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者様を特定できないようにしたうえで使用します。また、患者様を特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。
共同研究機関	ありません。当院のみでの研究になります。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 (内線) 3461 (平日 8:30~17:15) 代表者：薬剤部 野村 実由
備考	